

宣工社、川越の新物流センター

化粧品 充填や発送代行

物流・発送代行の宣工社(埼玉県所沢市)は、化粧品や医薬部外品専用の物流拠点を埼玉県川越市に設けた。化粧品やシャンプーのボトル充填、ラベル貼りなどの作業を代行する加工機能を備えている。県内には化粧品会社が多く、省力化を進めて製造に特化したい企業からの需要は強いと判断した。

川越市南台

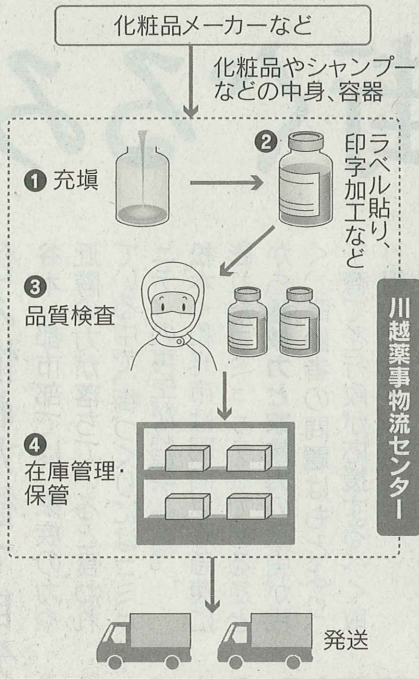
専門の有資格者雇用

来月稼働 作業許可証を取得

新拠点「川越薬事物流センター」は4月から本格稼働する。同社は単に物を送るだけでなく顧客の求めに応じ、複数の商品を詰め合わせのセットにしたり、資料を封入したりする「物流加工」に

強みがある。かねて化粧品会社などから「中身の研究開発や製造に注力したい」という要望が届いていた。全国の化粧品販売額が伸び続けていることもあり、化粧品や医薬部外品の充填に必要な許可証を取得した。「物流施設で充填作業から発送ま

新物流センターは充填、ラベル貼りをして発送する



備を建設した。センター開設に向け、専門の資格を持った人を雇用したに加え、設備を整えて化粧品・医薬部外品の充填に必要な許可証を取得した。「物流施設で充填作業から発送ま

でできるのは業界初(長内英俊社長)という。建物は4階建てで、延べ床面積は約6600平方メートル。クリーンルームに液体などをボトルに充填する機械を導入した。1ラインで1日約6000本のボトル詰め能力がある。充填が終わると、隣の部屋につながるライン上で包装、ボトルへの印字、取扱説明書の同封まで一貫して作業できる。稼働時は2ラインから始め、最大で7ラインまで増やす予定だ。

匂いや重さを調べる品質検査の部屋も設けた。同社の社員が使つ場所とは別に、取引先の担当者

が施設内で検査できるように専用の部屋を設けた。出荷前の検査のために、取引先に送る手間や費用を省く狙いがある。ダイレクトメール(DM)などの発送代行で培ってきた工程管理のノウハウを活用して、不良品の発送なども防ぐ。

取り扱う商品は化粧水などのスキンケア商品からシャンプーなど幅広く対応する。今後はペット

用シャンプーなどの資格も取得し、取引する業界や分野を広げていく方針だ。

物流センターは関越自動車道の川越インターチェンジから車で5分ほど。建物は賃借で、充填や品質検査の機械のほか、エアシャワーといった衛生面の設備や仕事にかかった投資額は2億円強。従業員は稼働時に30人を雇用するが、将来

は約100人まで増やす。

同社は1970年設立で、2017年9月期の売上高は10億円弱。日本化粧品工業連合会による埼玉県には化粧品製造業者が268(16年3月末時点)あり、東京都や大阪府に次いで3番目に多い。これまでは食品や雑貨、DMの扱いが中心だったが、新拠点の開設で取引先を広げる。